



# たまがわ

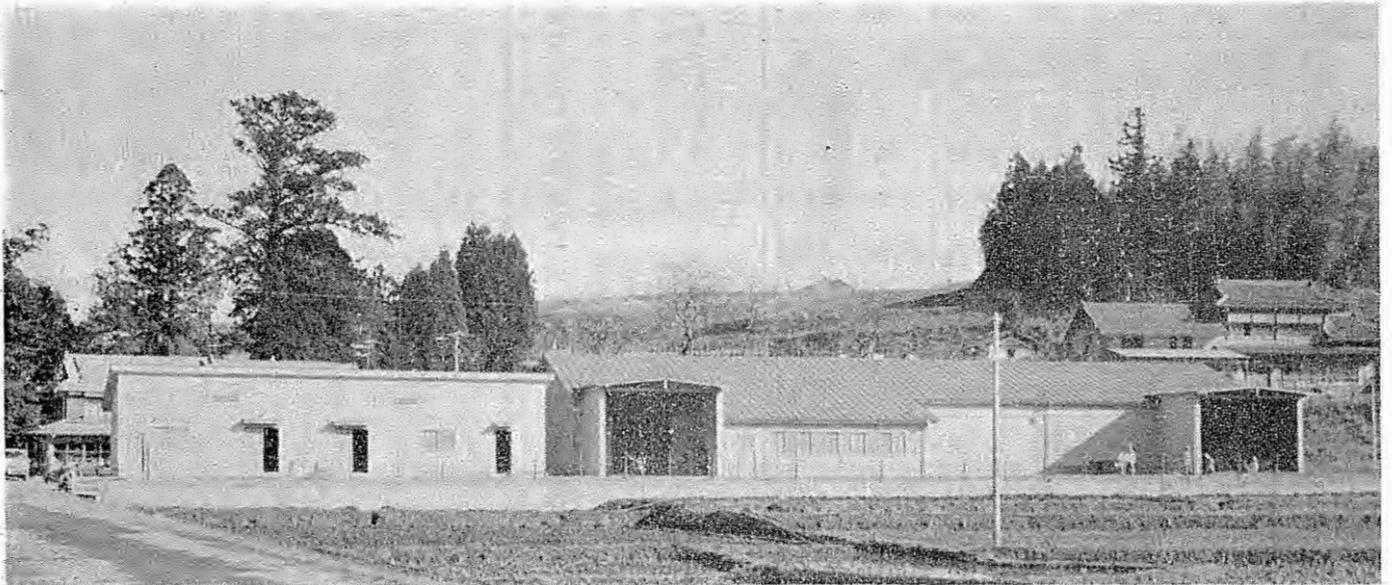
## 広報

編集と発行  
 福島県石川郡玉川村役場  
 大越力夫  
 でんわ 川辺 1・39・124  
 印刷所  
 須賀川市加治町69  
 有限会社 円谷印刷

### 村のようす

(45.11月1日現在)

世帯数 1,435戸  
 人口 7,481人  
 男 3,622人  
 女 3,859人  
 面積 46.62km<sup>2</sup>



## 国勢調査の結果まとまる

わが村の人口は 7,478人

去る10月1日国勢調査が行われ、調査員はじめ村民皆様の御協力により無事終了し、人口だけ下記の結果がまとまりました。皆様の御協力に対し心から感謝申し上げます。尚詳細な事項は発表あり次第掲載致します。

国勢調査結果表 昭和45年10月1日調査

部落名	昭和35年10月1日 国勢調査		昭和40年10月1日 国勢調査		昭和45年10月1日 国勢調査			
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	男	女	計
川 辺	198	1,250	196	1,117	196	487	547	1,034
蒜 生	42	213	40	231	50	125	134	259
小 高	219	1,236	219	1,162	207	507	530	1,037
中	116	705	115	697	161	356	365	721
岩法寺	82	553	78	486	136	230	253	483
竜 崎	135	857	130	772	83	361	377	738
西部小計	792	4,844	798	4,465	833	2,066	2,206	4,272
南須釜	288	1,621	293	1,588	284	715	748	1,463
北須釜	160	938	153	880	146	391	413	804
吉	76	488	77	456	75	212	211	423
山小屋	44	246	44	242	39	92	123	215
山新田	9	51	8	47	7	18	22	40
四辻新田	59	368	62	343	51	130	131	261
東部小計	636	3,712	637	3,556	602	1,538	1,648	3,206
合 計	1,428	8,556	1,435	8,021	1,435	3,624	3,854	7,478

◎ 岩法寺蔵岡村営住宅(開山団地)及附近戸数5戸 計15戸及竜崎蔵岡村営住宅蔵岡団地10戸は中区へ。南須釜3戸四辻新田区へ。蒜生1戸小高へ編入。

## 森殿葉たばこ取扱所落成

専売公社の企業合理化の一環としてたばこ取扱所の統廃合がなされており、わが村関係の取扱所は、昭和四十四年度より泉郷臨時取扱所の廃止四十五年度には南須釜取扱所と、大栗取扱所の統合等が公社の計画として発表されました。わが村としては基幹作目であるたばこの収納が須賀川市へ運搬することになると耕作には非常に不便を来し所得の面にも影響するので村内に取扱所を設置するよう昨年一

月から村を挙げての大運動を展開し、専売公社郡山地方局に幾度か陳情を重ねた結果、本年五月大字北須釜字森殿に取扱所建設が決定となりました。用地は森殿地内県道と村道との十字路で面積二、八一八・七二平方メートル(八五二・六六坪)の土地に二棟の建物が十一月二十六日に完成いたしました。上屋七五〇平方メートル、控室八三平方メートル、計八三三平方メートルで、一日一万二千キロの収納ができることとなります。

## 十二月の行事予定表

- |    |   |                |
|----|---|----------------|
| 一  | 日 | 葉たばこ振興対策協議会    |
| 一〇 | 日 | 仔牛生産検査(東部地区)   |
| 一一 | 日 | 仔牛生産検査(西部地区)   |
| 一五 | 日 | 野ソ駆除村内一斉       |
| 一七 | 日 | 妊婦検診午後一時母子センター |
| 二二 | 日 | 第一二回農業委員会      |
| 二七 | 日 | 工業統計調査         |
| 三〇 | 日 | 民生委員協議会        |
| 三一 | 日 | 村議会第四回定例会、月例監査 |
| 七  | 日 | 教育委員会、公民館      |
| 二二 | 日 | 和教学校開講         |
| 二二 | 日 | 教育委員会          |

# 1970年世界農林業センサスの結果発表

昭和45年2月1日調査

	昭45.2.1 現在 総戸数	総農家 戸数	農家戸数内訳			
			専業 農家数	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家	兼業 農家計
西部地区	816	564	125	277	162	439
東部地区	616	518	100	331	87	418
玉川村	1,432	1,082	225	608	249	857
	田のある 農家戸数	田面積 ヘクタール	樹園地 農家戸数	樹園地 面積 ヘクタール	畑のある 農家戸数	畑面積 ヘクタール
西部地区	541	336.15	222	67.55	557	287.45
東部地区	500	240.93	326	63.29	517	291.14
玉川村	1,041	577.08	548	130.84	1,074	578.59
	乳牛飼 養農家 戸数	鶏飼養 農家戸 数	肉牛飼 養農家 戸数	豚飼養 農家戸 数	養蚕農 家戸数	養蚕農 家戸数
西部地区	35	107	109	159	312	2,926
東部地区	35	109	287	484	59	441
玉川村	70	216	396	643	371	3,367
	鶏飼養 農家戸 数	鶏飼養 農家戸 数	養蚕農 家戸数	春蚕	夏秋蚕	晩秋蚕
西部地区	239	14,466	186	4,718	2,347	5,424
東部地区	232	6,599	289	6,420	1,958	6,624
玉川村	471	21,065	475	11,138	4,305	12,048

◎樹園地には桑園、果樹園、ホップ園その他も含みます。

## 1965年農業センサス結果

総農家数 1,119戸 専業農家数 392戸 第1種兼業農家数 515戸  
第2種兼業農家数 212戸 田 556.53ha 樹園地 107.49ha 畑 625.63ha

## 良質米奨励金と

### 米品質改良奨励金

・近時における米の需給事情、消費の動向にか  
・んがみ、米の品質向上についての稲作農家の  
・経営努力を助長し、稲作経営の合理化と食糧  
・管理の円滑化を図るため、昭和四十五年度米  
・穀の生産者に対し良質米奨励金及び米品質改  
・良奨励金を今回交付する事となりました。そ  
・の内容についてお知らせ致します。

◎良質米については一 (1) 水稲  
等から三等までにかく 一等(60kg当)三〇〇円  
付されたものであり、二等( )二〇〇円  
奨励金の額は次の通り 三等( )一四〇円

(2) 陸稲  
一等(60kg当)二〇〇円  
二等( )一五〇円  
三等( )九〇円  
◎米品質改良奨励金に  
ついては種子の導入、  
肥培管理、乾燥、調整  
等広汎にわたる米の生  
産過程において、米穀  
の生産者が米の品質改  
良のために経営上の努  
力をする事により、  
販売米穀の品質改良を  
図るため、米穀の販売  
数量に応じ交付される

こととなるが、良質米  
と同じく昭和四十五年  
産の米穀で検査に合格  
した一等から五等まで  
のものに限られます。  
奨励金の額は次の通り  
(1)水稲(等級別なし)  
六〇kg当 八〇円  
(2)陸稲(等級別なし)  
六〇kg当 五〇円

## 貯蓄と税金

国から交付される額  
は以上となっております  
す。これ等奨励金の手  
続及び交付については  
指定集荷業者の方で  
なす事となっております  
で。集荷業者より指示  
された事項に基づいて  
所定の手続きをされま  
す様お願い致します。

源泉徴収されるだけの  
分離課税と、ほかの所  
得と合計して確定申告  
をする総合課税のどち  
らか有利な方を選ぶこ  
とができます。  
源泉分離課税を選択  
した場合の税率は、昭  
和四十六、四十七年中  
は二〇%、昭和四十八  
年から五十年までは二  
五%です。  
総合課税を選択した  
場合は一五%の税率で  
源泉徴収され、利子所  
得とほかの所得を合計  
して確定申告をし、精  
算します。

十二月 時々冷え込  
みの強い日もあります  
が、あまり長続きせず  
温暖な日が多い見込み  
なので、月平均では平  
年並みかやや高いでし  
ょう。  
一月 週期的に寒  
気の吹き出しがあり、  
特に後半は寒さの厳し  
い日が多いので、月平  
均では平年並みかやや  
低い見込みです。  
二月 月の前半は  
まだ寒さの厳しい日が  
目立ちますが、後半は  
寒暖の変動が大きくな  
る見込みです、月平均  
では平年並みかやや高  
いでしょう。

降水 量  
および積雪  
十二月 大陸方面の  
高気圧が時々強まり  
ますがあまり長続きせ  
ず、移動性高気圧にお  
よわれやすいので、天  
気は週期的に変わる見  
込みです。月の降水量  
は会津では平年並みか  
やや多いですが、中通  
り、浜通りではやや少  
ないでしょう。積雪は  
会津では平年並み、中  
通り、浜通りではやや  
少ない見込みです。  
一月 シベリヤ高  
気圧が週期的に発達す  
る見込みで、特に後半  
には季節風が吹き続き  
会津では風雪の日が多  
く、一〜二回大雪があ  
るでしょう。中通り、  
浜通りでは乾燥した晴  
天が多い見込みですが  
本州南岸を通る低気圧  
で一時大雪の降るおそ  
れがあります。月の降  
水量は全般に平年並み  
かやや多く、積雪は中  
通り、浜通りでは平年  
並み、会津ではやや多  
い見込みです。  
二月 月の半ばこ  
ろまでは、西高東低の  
冬型の気圧配置が目立  
ち、会津では風雪の日  
が多く、中通り、浜通  
りでは晴天が続く見込  
みです。しかしその後  
は冬型の気圧配置が弱  
まり、天気は週期的に  
変わるようになります  
が、一時台湾坊主がか  
なり発達し、風雪の強  
まるおそれがありま  
す。月の降水量は全般  
に平年並みかやや多い  
ですが、積雪は平年並  
みかやや少ない見込み  
です。

五年前より農家三四戸、専業農家一六七戸減、第一第二種兼業一三〇戸増加  
さる二月一 別表のような結果が発  
日実施致しま 表になりましたので御  
した世界農林 知らせ致します。農家  
業センサスの として調査対照となっ  
計算が終了し たのは一〇アール以上  
農地を耕作している者  
です。第一種兼業とは  
農業が主な収入になっ  
て兼業を行っている者  
第二種兼業は本業が別  
りのことと思います。

有って片手間に農業  
を行う者で、専業農家  
が減って兼業農家が  
加している事がおわか  
りのことと思います。

債の利子などは一五%  
の所得税が源泉徴収さ  
れるだけで、ほかの所  
得とは分離して課税さ  
れていました。昭和  
四十六年一月一日から  
五十年十二月三十一日  
までの間に支払われる  
利子に対する課税は、  
次のように変わります。

定期預金、貸付  
信託、公社債、勤務先  
預金等の利子所得につ  
いては、従来のように

教育委員に  
西川さん就任  
味原嘉男委員の任期  
満了退任により、後任  
として大字小高、西川  
亮徳(六一)さんが十  
一月二十四日付で任命  
されました。  
西川さんは永年教育  
関係の職にあった方で  
今後の活躍が期待され  
ています。

## 三か月天気予報

この冬は、変動の大  
きい天候が見込まれま  
す。十二月は大陸高気  
圧が二〜三回発達しま  
すが、あまり長続きし  
ないでしょう、しかし  
一月から二月前半ころ  
にかけて冬型の気圧配  
置が時々強まり季節風

の吹き出しや寒さの厳  
しい日が多い見込みで  
す。浜通りや中通り  
は乾燥した晴天の日が  
多いですが、会津では  
二〜三回大雪の降るお  
それがあります。

気 温

気 温

# 成人式は同級生単位に

今までの成人式は一月十五日を基準に二十才に達した者を対象に実施してきましたが、今回からは該当者等からの要望もあり同級生単位で成人式を実施することになりました。したがって来年一月十五日の成人式該当者は昭和二十五年一月十六日から二十六年四月一日までに生れ本村に住所のある者で次のとおりです。なお調査もれの方がありませんたら教育委員会事務局まで連絡下さい。

- |       |       |       |      |
|-------|-------|-------|------|
| 川 辺   | 熊田美知子 | 味原正春  | 矢吹直樹 |
| 熊田富士枝 | 須藤和夫  | 三輪士郎  |      |
| 草野泰秋  | 森生    | 溝井ヨシ子 |      |
| 川崎二三子 | 矢吹清徳  | 溝井キクノ |      |
| 大竹ちい子 | 溝井淑子  | 溝井ヨシノ |      |
| 大竹ツネ子 | 真弓トシエ | 小林ヨシノ |      |
| 大竹 昭  | 小高    | 小林 功  |      |
| 熊田トミエ | 車田カクヨ | 小針栄子  |      |
| 味原ヨシ子 | 車田孝男  | 橋本甲市  |      |
| 鈴木良子  | 車田勝一  | 永林久江  |      |
| 鈴木善子  | 国井重光  | 永林 昭  |      |
| 鈴木美代子 | 大竹トミエ | 角田マエ  |      |
| 鈴木和夫  | 小山田 厚 | 高林重和  |      |
| 須藤保一  | 添田義勝  | 高林広子  |      |
| 須藤久一  | 関根サタ子 | 高林ハルノ |      |
| 須藤一夫  | 首藤ハツ子 | 高林喜代子 |      |
| 白旗和代  | 小針国子  | 鈴木光子  |      |
| 白旗喜代  | 溝井ヤス子 | 首藤源次  |      |
| 坂本洋一  | 溝井カツ  | 吉田梅子  |      |
| 三瓶正幸  | 溝井セイ子 | 橋本正男  |      |
| 三瓶キクヨ | 溝井源二  | 小針ヨリ  |      |
| 三瓶てい  | 本田れい子 | 小針一郎  |      |
| 矢部春子  | 高原義巳  | 大竹初江  |      |
| 矢吹ハナヨ | 松本ひろ子 | 角田たい子 |      |
| 野崎久夫  | 溝井恵美子 | 水野由喜子 |      |
| 高橋政子  | 高原幸子  | 大竹徳良  |      |
| 田子たつ子 | 双里博行  | 大竹邦夫  |      |
| 双里正枝  | 国井たけの | 大竹安喜雄 |      |
| 矢部丈一  | 車田清司  | 大竹綱代  |      |
| 熊田正子  | 添田友春  | 吉田八重子 |      |
|       | 白沢松雄  | 須釜金男  |      |
|       |       | 佐久間悦雄 |      |

## 竜崎

- |      |       |       |      |      |       |      |      |        |      |      |      |       |       |       |      |      |       |       |       |      |      |       |       |       |      |      |       |       |       |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |       |       |      |
|------|-------|-------|------|------|-------|------|------|--------|------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|
| 大竹興吉 | 大竹トミエ | 石森ユキ子 | 石森正一 | 須釜松雄 | 佐久間忠一 | 小林孝次 | 小林幸子 | 小林キク代  | 岡部ふよ | 上野正治 | 上野正吉 | 小林三和子 | 小林健助  | 石井清蔵  | 石井節子 | 鈴木晴江 | 鈴木福代  | 佐藤カツエ | 佐藤カツエ | 小林 正 | 小林 隆 | 小林キイ子 | 湯沢はつえ | 湯沢光夫  | 湯沢 勝 | 小林覚雄 | 小林真作  | 小美美紀子 | 鈴木あや子 | 鈴木吉光 | 鈴木吉次 | 鈴木義光 | 佐藤 一 | 佐藤 光 | 佐藤 明  | 小林 明 | 有賀隆幸 | 大越 好 | 大野清人 | 大野一郎 | 大野 恵子 | 大野ヨシ子 | 太田勝雄 |
| 木戸栄子 | 小原安春  | 小原スミ  | 小針久子 | 小原孝子 | 小原 清  | 佐藤 裕 | 斎藤幸子 | 佐久間さち子 | 斎藤秀夫 | 塩沢悦子 | 塩沢義幸 | 塩沢ヒロ子 | 塩沢千枝子 | 塩沢セツ子 | 鈴木好市 | 円谷 栄 | 円谷トシ子 | 戸津吉勝  | 松本かつ子 | 宗形菊男 | 宗形重一 | 宗形 栄  | 吉村よし子 | 吉村よし子 | 我妻一夫 | 宗形辰一 | 阿部トキ子 | 木戸 町子 | 大橋美紀子 | 草野秋子 | 柳枝正昭 | 柳枝房夫 | 柳枝福夫 | 須田福広 | 鈴木とみ子 | 瀬谷初江 | 高原八郎 | 宗形敏子 | 矢吹吉昭 | 小針正子 | 塩沢清二  | 渡辺正徳  | 境田孝夫 |

## 戦没者遺族の相談員を設置

戦没者遺族に対して要と思われまますので、このたび相談員に対する業務委託制度を設けられたものです。相談員は民間の篤志家として戦没者遺族の相談に応じたため必要の援助を行なう業務を厚生大臣から委託を受ける者で、その性格

大和田佳子 山小屋 石森春男  
有賀重久 有賀ミキ子 石森チヨノ  
有賀まさ子 佐藤栄子 石森重子  
佐藤栄子 大串とめ 草野正博  
鈴木喜一 森 ナツエ 我妻藤幸  
森 安隆 真野目浅人 岩瀬郡・石川郡  
矢吹正四 飯田秋則 氏名 渡辺正功  
須釜半治 関根雪枝 住所 須賀川市大字江  
大和田重子 渡辺利秋 持字下川端一一三  
郵便番号 九六二  
電話 三三三四七

工業統計調査に御協力を  
来る十二月三十一日現在で、昭和四十五年度の工業統計調査が行われます。年の暮、年始で御多忙の処恐入りますが、吾が村の工業発展の資料収集に御協力下さるよう御願ひ致します。

## 年末調整の注意点

給与所得者の所得税は、給与の支払いの際に、その給与に対応する所得税を差し引いて納める源泉徴収制度となっており、十一月に、一年間に源泉徴収された所得税を精算するため年末調整が行なわれます。給与所得者は、その

最後の給与の支給を受ける日の前日までに「扶養控除等異動申告書」と「保険料控除申告書」を給与支払者に提出しなければなりません。これらの申告書が正しく記載されないと、正確な年末調整ができませんから、早めにご準備ください。

